

保健・健康



※特に記載があるものを除いて、会場・詳細は保健センター(若草町6-1 ☎385-5252)です。

◎ 乳幼児健診

項目	日程	時間
4か月児健診	1/9(金)	9:00～11:00 12:30～14:15
	1/20(火)	9:00～11:00
10か月児健診 (平成26年3月生まれ)	市内の小児科医院(要予約)	
1歳6か月児健診 (平成25年6月生まれ)	1/14(水)、23(金)	9:00～11:00
3歳児健診 (平成23年12月生まれ)	1/8(木)、28(水)	9:00～11:00

●いずれも料金は無料。対象の方には個別に通知します。

◎ 歯科相談・フッ素塗布

日時・1/14(水)、23(金) 13:15～15:00。
対象・就学前のお子さん。※フッ素は1歳から。
持ち物・母子手帳、歯ブラシ、コップ、タオル。
料金・フッ素800円。



◎ 1月 献血バスひまわり号巡回日程

日	時	場所
4(日)	9:30～16:30	イオン江別店(幸町35) ※11:30～12:45は昼休みです。
16(金)	10:00～17:00	酪農学園大学(文京台緑町582) ※11:00～12:15は昼休みです。
20(火)	10:00～17:00	札幌学院大学(文京台11) ※11:00～12:15は昼休みです。



●当日の輸血用血液の在庫状況によっては、400ml献血のみの受付となります。

各種がん検診

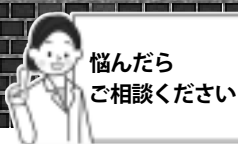
項目	助成対象		留意事項		
胃・肺・大腸がん	受診日現在40歳以上の方。		職場で検診を受ける機会のない市民が対象。受診の際は健康保険証をお持ちください。実施医療機関は、「広報えべつ10月号」に折り込みの「江別けんしんだより後期版」をご覧ください。保健センターまでお問い合わせを。		
子宮頸がん	受診日現在20歳の方および21歳以上で元号の生まれ年が偶数年の方。				
乳がん	受診日現在40歳の方および41歳以上で元号の生まれ年が偶数年の方。【注意!対象外の方】①乳腺の経過観察中の方や乳腺疾患で治療中の方、②豊胸手術を受けた方、③心臓にペースメーカーなどを装着中の方。※脳室-腹腔内シャント、IHポートなどを入れている方も対象外となります。				
骨粗しょう症	平成26年4月～平成27年3月までに、30、35、40、45、50、55、60、65、70歳を迎える女性。				
送迎バス検診	日程	受付期間	出発場所・(時間)	料金()は国保加入者	留意事項
	2/23(月)※	1/5(月)～2/6(金)	東大麻自治会館(11:30)	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん 1,000円(500円) ※胃がん検診は2/23の検診では実施していません。 肺がん 300円(200円) 大腸がん 500円(300円) 子宮がん頸部 1,000円(500円) 子宮がん頸部・体部 1,500円(800円) 乳がん 40～49歳 1,400円(700円) 乳がん 50歳以上 1,200円(600円) 骨粗しょう症 400円(200円) 	がん検診を受ける方が対象 ※ご加入の健康保険によっては特定健診があわせて受けられる場合があります。
	3/11(水)	2/2(月)～2/23(月)	コミュニティセンター(8:00) 野幌公民館(8:20) ●コミュニティセンターと野幌公民館の駐車場は利用できません。いずれも公共交通機関をご利用ください。		送迎バス検診 申込・会場 / 北海道対がん協会 札幌市東区北26条東14丁目1-15 ☎748-5522
	3/19(木)	2/2(月)～3/3(火)	市役所大麻出張所(8:00)		受付時間 / 平日 9:00～17:00 第1・3土曜日 9:00～12:20

休日・祝日当番病・医院(救急・急病)

【診療時間】内科・小児科 9:00～17:00/ 外科系 9:00～翌朝 9:00 (■印の医療機関は診療時間が異なります。)

※都合により変更される場合があります。新聞紙上または北海道救急医療情報案内センター(☎0120-20-8699、携帯電話からは011-221-8699)、江別市消防本部(☎382-5453)、江別医師会のホームページでご確認ください。

月/日	内科・小児科	外科系
1/1(木祝)	■ゆきざさ循環器内科 野幌屯田町23-19 ☎384-1000(診療時間 8:30～17:00) □野幌病院(内科のみ) 野幌町53 ☎382-3483	□野幌病院 野幌町53 ☎382-3483
2(金)	□江別内科クリニック(内科のみ) 元江別本町35-2 ☎381-8900 □おおめま小児科 東野幌本町7-5 せいのつぼる2階 ☎385-6782 □溪和会江別病院(内科のみ) 野幌代々木町81-6 ☎382-1111	□溪和会江別病院 野幌代々木町81-6 ☎382-1111
3(土)	■平賀内科クリニック 野幌東町26-26 ☎382-5989(診療時間 8:30～17:00) □溪和会江別病院(内科のみ) 野幌代々木町81-6 ☎382-1111	□溪和会江別病院 野幌代々木町81-6 ☎382-1111
4(日)	□緑苑クリニック(内科のみ) 野幌末広町2-12 ☎381-6490 □鈴木小児科医院 大麻扇町3 ☎386-5303	□野幌病院 野幌町53 ☎382-3483
11(日)	□アウル内科クリニック 東野幌本町2-18 ☎383-3456	□江別谷藤病院 幸町22 ☎382-5111
12(月・祝)	□高橋内科医院(内科のみ) 大麻扇町3-7 ☎386-5222 □あずま子ども家庭クリニック(小児科のみ) 野幌住吉町25-10 ☎385-2500	□野幌病院 野幌町53 ☎382-3483
18(日)	■江別市立病院 若草町6 ☎382-5151(診療時間 8:30～17:00)	■江別市立病院 若草町6 ☎382-5151(診療時間 8:30～翌朝 8:30)
25(日)	□はまもと内科クリニック 上江別東町4-27 ☎788-7636	□江別谷藤病院 幸町22 ☎382-5111
2/1(日)	□江別谷藤病院(内科のみ) 幸町22 ☎382-5111 ■とがし小児科 野幌松並町25-2 ☎385-0150(診療時間 8:30～16:00)	□溪和会江別病院 野幌代々木町81-6 ☎382-1111
●産婦人科救急夜間相談 ☎622-3299【さんぷきゅうきゅう】 札幌市産婦人科救急電話相談(年間全日対応 19:00～翌朝 7:00)		
●江別市夜間急病センター ☎391-0022(錦町14-5) 内科・小児科(年中無休) 診療時間 19:00～翌朝 7:00 受付時間 18:30～翌朝 6:30		



悩んだら
ご相談ください

無料相談窓口

※ 祝日・年末年始は休みます。

相談窓口の名称：内容。日時 会場・詳細

暮らし

- **一般相談**：日常の悩みや困りごとの相談を受け、助言や専門機関を紹介。月～金曜日 8:45～17:15 市民相談所 ☎ 381-1021
- **税務相談**（要予約）：税理士が税全般の相談を受けます。1/21 (水)、2/18 (水) 13:00～16:00 市民税課 ☎ 381-1012 ※前月の1日から予約受付。
- **家庭生活悩みごと相談**：家族関係・対人関係・子育て・思春期など。月曜日 10:00～15:00 総合社会福祉センター ☎ 385-1234、水曜日 10:00～15:00 にこにこ相談室 ☎ 389-7830（総合社会福祉センター内）、木曜日 10:00～15:00 市役所大麻出張所 ☎ 382-4855
- **悩みごとテレホン相談**：家庭生活の諸問題について相談ください。火・金曜日 10:00～15:00 総合社会福祉センター ☎ 389-7830
- **消費生活相談**：消費生活の苦情や相談など。月～木曜日 9:30～16:30、金曜日 10:00～16:00 市役所第二別館 2階江別消費者協会 ☎ 381-1026、金曜日 10:00～16:00 市役所大麻出張所 江別消費者協会 ☎ 382-4855

健康

- **心の健康相談**（要予約）：精神科医師・保健師が相談を受けます。1/8 (木) 13:30～16:00 江別保健所 ☎ 383-2111 ※精神科受診歴のある方は要相談、前日 12:00 まで予約受付。
- **女性の健康相談**（要予約）：妊娠・出産・子育て・不妊・更年期など女性特有の悩みについて保健師が相談を受けます。1/13 (火) 13:30～15:30。江別保健所 ☎ 383-2111 ※1/9 (金) 16:00 まで予約受付。秘密厳守。
- **親子健康相談**：2/2 (月) 13:30～15:00 保健センター ☎ 385-5252
- **へるすあっぷ相談**（要予約）：生活習慣病予防相談・栄養相談。1/19、26、2/2 いずれも月曜日 10:00～12:00 保健センター ☎ 385-5252

- **こころと体の健康相談**：保健師・栄養士が相談を受けます。月～金曜日 9:00～17:00 保健センター ☎ 385-5252

子育て・教育

- **乳幼児の子育て相談**：電話、来園、訪問で相談を受けます。月～金曜日 9:00～17:00 子育て支援センターすくすく ☎ 381-1714
- **子どもの発達相談**：子どもの発達について相談を受けます。月～金曜日 8:45～17:15 子ども発達支援センター ☎ 385-1015
- **子育てテレホン相談**：しつけ、思春期問題、親子関係など。月～金曜日 10:00～12:00 相談室（教育委員会内） ☎ 384-7005
- **家庭児童相談**：18歳未満の子育ての悩み、虐待、養育上困難な生活の悩み。月～金曜日 9:00～17:00 子ども家庭課 ☎ 381-1236
- **ひとり親・家庭相談**：ひとり親家庭の生活における悩みの相談、DV相談。月～金曜日 9:00～17:00 子ども家庭課 ☎ 381-1236
- **教育相談**（要予約）：臨床心理士（スクールカウンセラー）がいじめや不登校などの悩み相談を受けます。1/20 (火)、1/27 (火) 10:00～12:00 少年指導センター（青年センター2階サークル室3） ☎ 384-7830
- **いじめ・不登校相談**：さまざまな教育相談を電話で受付。月～金曜日 10:00～17:00 少年指導センター ☎ 382-4044
- **子ども電話相談**：子どもの悩み事や心配事。月～金曜日 10:00～17:00 少年指導センター ☎ 384-7830
- **ヤングテレホン**：青少年の悩みごとや非行問題など。月～金曜日 13:00～17:00 相談室（教育委員会内） ☎ 383-8009

福祉

- **認知症の悩みごと相談**：江別認知症の人の家族を支える会が電話・面談にて相談を受けます。水・木曜日 10:00～15:00 いきいきセンターさわかち ☎ 387-5657。木曜日 10:00～15:00 総合社会福祉センター ☎ 389-7830
- **高齢者総合相談**：月～土曜日 8:45～

- 17:15 江別第一地域包括支援センター ☎ 389-4144。月～金曜日 8:30～17:30、土曜日 8:30～12:30 江別第二地域包括支援センター ☎ 389-5420。月～土曜日 9:00～17:40 野幌第一地域包括支援センター ☎ 381-2940、月～金曜日 8:30～17:00、土曜日 8:30～12:30 大麻第一地域包括支援センター ☎ 388-5100
- **精神障がい回復者生活相談**：月～金曜日 10:00～15:00 あすか就労継続支援施設 ☎ 382-0660
- **障がい福祉相談**：障がいに関することなら何でも。月～金曜日 8:45～17:15 障がい者支援センター ☎ 802-5004

行政・法律

- **法律相談**（要予約）：弁護士が相談を受けます。1/8 (木)、22 (木) 13:00～15:00 市民相談所 ☎ 381-1021 ※申込は、月初め平日初日 8:45 から電話で受付。各相談日先着5名。
- **人権相談**：いじめや差別、嫌がらせなど人権侵害にあたること。1/15 (木) 13:00～15:00 市民相談所 ☎ 381-1021
- **行政相談**：国の行政などに関する意見や要望。1/22 (木) 13:00～15:00 市民相談所 ☎ 381-1021 ※当日随時受付。

その他

- **金融相談**（要予約）：中小企業者の経営、金融の相談を受けます。1/13、1/27、2/3、いずれも火曜日 10:00～15:00 江別商工会議所 ☎ 382-3121
- **犯罪被害者支援**：専門のカウンセラーを斡旋します。月～金曜日 9:00～17:15 市民生活課 ☎ 381-1093 ※秘密厳守。
- **若者就労相談**（要予約）：現在、働いておらず、働くことに不安や悩みを持っている方（39歳までで、新規学卒者含む）を対象に無料で相談を受けます。1日4人まで。1/9、1/16、1/23、1/30、2/6 いずれも金曜日。10:00～16:00。野幌公民館。申込・詳細…岩見沢地域若者サポートステーション ☎ 0126-25-0601（火～土曜日 10:15～17:15）



江別市立病院 今どきの養生ばなし No.261

前立腺がんの治療の現状

泌尿器科主任部長 佐藤 聡 秋

前立腺がんを完全に治すための治療には前立腺全摘術と放射線療法があります。話題のロボット支援手術において前立腺全摘術が日本で真っ先に保険適応となったため、大きな病院でも次々と導入されています。ただし、前立腺がんは増殖する速度が遅いがんなので、こうした治療法は早期がんで長い余生を期待できる患者が対象であり、これに当てはまらない場合はホルモン療法となります。

前立腺がんは男性ホルモンの作用で増殖するため、これを妨げる治療がホルモン療法です。男性ホルモンは精巣と副腎で作られます。精巣由来の男性ホルモンがない去勢状態にすることがホルモン療法の原則で、両側の精巣を取るか、精巣を刺激するホルモンを抑える注射を定期的に続けます。さ

らに副腎由来の男性ホルモンが作用するのを妨害するために、抗アンドロゲン薬の内服薬を併用することが一般的です。ホルモン療法には勃起不全・性欲低下・ほてり感などの更年期症状がありますが、一般的な抗がん剤に比べて副作用が軽いので、高齢者や体調の悪い患者にも可能な治療法です。

ホルモン療法は進行がんにも有効で、がんによる症状が軽減・消失することが多く、この治療によって長生きされた例もあります。しかし、数年で効果がなくなる場合もあります。これに対しては、抗アンドロゲン薬の変更や女性ホルモン製剤、副腎皮質ホルモン製剤が有効ですが、標準的な治療は抗がん剤であるドセタキセルの点滴で、比較的高齢者でも通院による治療が可能となります。ただし、人によっては、この治療ができないケースもあります。

最近では、新しいホルモン療法の内服薬であるアピラテロンとエンザルタミドが発売されるなど治療の選択肢が増えており、今後が期待されています。